



香川県 高速安協だより



令和7年 5月号

令和7年5月12日
香川県高速道路
交通安全協議会

「ゴールデンウィーク」期間中の県下の交通事故発生状況

期間：令和7年4月26日～5月6日



区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
発生件数	56(0)	57(1)	-1(-1)	-1.8%
死者数	0(0)	0(0)	±0(±0)	—
負傷者数	67(0)	66(1)	+1(-1)	+1.5%

()内は、期間中の県内高速道路での発生件数

県警は、ゴールデンウィーク(GW)期間中(4月26日～5月6日)の県内の交通事故状況をまとめました。期間中の事故死者は4年連続でゼロとなり、人身事故件数と負傷者数は前年同期とほぼ同数となりました。

また、高松自動車道、瀬戸中央自動車道(瀬戸大橋)の交通量は前年からほぼ横ばいでしたが4月27日の陸上自衛隊の記念行事の航空自衛隊「ブルーインパルス」飛行イベントにより、高松西ICから善通寺ICにかけて一時最大17kmの渋滞が発生しました。交通集中によって高松道で10km以上の渋滞が発生するのは、4車線化前の2018年5月5日以来となりました。

高速道路の逆走に注意！

～県内高速道路の逆走、過去5年間で28件～

4月26日夜、栃木県那須塩原市の東北自動車道上り線で起きた逆走多重事故では3人が死亡し、11人が重軽傷を負う大惨事となりました。



高速道路での逆走は全国で毎年200件程度発生しており、国交省によると逆走事故の死亡率は高速道路事故全体と比べて38倍に上ります。

香川県内でも高速道路の逆走事案は、2024年までの過去5年間に28件確認されています。高齢ドライバーが全体の7割を占め、年齢別では、70代が14人で最も多く、次いで80代が5人、50代が4人となっています。

県警によると、香川の28件のうち、逆走の開始場所はICが14件と半数を占めています。

＜逆走を防ぐ対策＞

- ICの出口を間違えてもUターンせず、そのまま走行し、料金所の職員に伝える。
- 目的のICの出口を通り過ぎた場合もUターンやバックせず、次のICの出口まで進み、料金所の職員の指示に従う。
- 走行中に逆走していることに気づいた場合、近くの安全な場所に車を止めてハザードランプを点灯させ、ガードレールの外側などに避難して、110番や非常電話で通報する。

